

事業名 三重の水田農業を守る米粉生産拡大推進事業

背景

- ・本県の中山間地域における農地は、全体の耕地面積57,600haのうち約3割の17,000haを占めており、食料の安定供給はもとより、多面的機能の発揮といった重要な役割を担っているが、米以外の作物の効率的な生産が困難な条件不利水田を中心に不作付地や耕作放棄地の拡大が懸念されており、これまで米づくりに取り組んできた小規模な家族農業の継続が危ぶまれている。
- ・こうした状況の中、コロナ禍による輸送経費の上昇やウクライナ情勢、生産国における輸出制限、円安の影響もあって、輸入小麦の価格が高騰しており、小麦粉を代替できる「米粉」に注目が集まっている。

目的

主食用米の生産調整が進展する中、価格が高騰している小麦の代替として需要が期待されている「米粉」に着目し、米以外の作物の生産が困難な中山間地域等条件の不利な水田を中心に「米粉用米」の産地形成を図ることで、収益の確保、小規模な家族農業の営農継続はもとより、耕作放棄地の発生の防止につなげる。

取組内容

事業三重の水田農業を守る米粉生産拡大推進事業

① 売れる米粉用米の生産実証事業

国が開発した米粉用途に適した新しい米の品種の中から、本県の気候や土壌の条件に適した品種を選定し、生産拡大に向けた現地実証に取り組む。

② 県産米粉加工適性評価事業

生産された米粉用米について、加工適性に関する評価を受け、本県に適した米粉用米品種を選定する。



米粉使用100%のパン